



わらしべの里通信



いろいろな人に感謝のクリスマス会



「これ、なあに」で答えを言い当てた仲間



「ビンゴ、楽しいです」



リズムに合わせて、プレゼント交換



仲間の会のクリスマス会が、12月20日午前11時30分から、食堂で開かれました。まずはカラオケで大盛り上がり。その横で約50人分のクリスマスランチを用意してくれている外部委託の栄養士さんに感謝する仲間の姿も。みんな心わくわくどきどきの表情を浮かべながら、食事をしていました。

午後1時からジングルベルのうたを歌って第2部のはじまり。心が温まった仲間の前に穴が2つ開いた黄色い箱がやってきました。しばらくしてから自分の手で箱の中にあるものを触りながら、周りの人のヒントを参考にそれがなにかあてるゲーム「これ、なあに？」がスタートしました。希望してみんなの前で当てている仲間は、恥ずかしさど何が入っているのかとドキドキ。自分が感じた答えを言いあたっていても、外れていてもみんな驚いて盛り上がりました。

そのあと、みんなの観察力で支援員さんの兄弟の有無や、子供の人数を当てたり、鉛をなめている人やコソタクトレンズをしている人などを当てるゲーム「犯

最後まで楽しめた

人は、誰だ」をたのしみました。さらに、ビンゴで大熱狂。ビンゴカードが配られ、次々に読み上げられる数字・・・うまく数字が並んで最初に「ビンゴ」と叫ぶ仲間もいれば、なかなか縦・横・斜めの5つの数字がそろわず叫べない仲間もいました。最後まで楽しんでる様子でした。

プレゼント交換では、みんなで大きな円形を作り誰にあたって喜ぶようなプレゼントを左側にいる仲間に戻していききました。両手に、2つ持っている仲間もいれば、手のひらに何も無い仲間もいたため、流れが何度も止まってしまいました。全員にいきわたって終了しました。仲間のにこやかな笑顔が、印象的でした。

今年も、3年連続でどこかのサンタさんから仲間たちにプレゼントのケーキが1人に1個ずつ届き、帰りに手渡され、「サンタさん、ありがとうございます」といいながら、大切そうに持ち帰っていました。(混む)



日産労連クリスマスチャリティー公演



日産労連クリスマスチャリティー公演前のあいさつ

日産労連NPOセンターの抽選に当選したので、宇都宮文化会館でクリスマスチャリティー公演を2年ぶりに見に行きました。

劇団四季による「桃次郎の冒険」の劇を見ました。有名な『ももたろう』という話が紙芝居で始まって、桃太郎は家来たち（イヌ、サル、キジ）を連れて鬼ヶ島へ行き、鬼を退治して宝物を持って来る話でしたが、途中から桃次郎の劇に変わり、弟の桃次郎は、1人で鬼ヶ島へ行きました。そんななか、お腹をすかせた桃次郎が鬼の木の実を食べると頭に角が生えて、この姿では、帰れないし誰にも見られたくないと言っただけで鬼ヶ島に住むうちに、鬼と友達になったという

劇です。

ある仲間は、「今回は、音楽が多かったので、音楽の時は、目をつぶって聞きました。ももたろうの紙芝居だと思っただけで、劇に切り替わるのがおもしろかったです」、「桃太郎の話は知っていたけれど、桃次郎の話は知らなかったのが楽しかったです」、「桃次郎の歌や鬼の劇もとてもおもしろかったです。また、見に行きたいです。こもり歌の所は居眠りをしてしまったけど、最後まで起きて楽しく見られました」と、話していました。（PORI）



日産労連クリスマスチャリティー公演・桃次郎の冒険

● 4月～5月の行事 ●

18日

レクリエーション
ゆーあい工房まつり

16日

仲間の会
誕生会（4人）

18日

誕生会（9人）

4日

花見会

5月の行事

● これからの行事予定 ●

19日

誕生会（1人）

5日

仲間の会
仲間の会役員選挙

22日

誕生会（4人）

1日

アイスを食べる会

18日

仲間の会
誕生会（5人）

4日

七夕

25日

嘱託医問診

20日

レクリエーション

5日

清掃ボランティア

6月の行事予定

※月の第1金曜日は、レクリエーション、第3金曜日に、仲間の会・誕生会を仲間の会主催で行います。

暑くなりましたね





秋の日帰り旅行。「今年も、楽しかったでーす」



日帰り旅行 ダチョウにエサやりをする仲間

11月8日、わらしべの家で働く仲間たちは、東武動物公園へ社協のマイクロボスと公用車2台の、計3台で日帰り旅行に出かけました。動物園の入り口では寒暖の差で色づいたイチョウの木々が参加者を優しくお迎えしてくれました。仲間はわくわくそわそわした表情で、入園しました。

動物園を訪れるのは那須どうぶつ王国に行った2008年以来5年ぶり。仲間のなかには入園直後から「動物、襲ってきそうで怖い」とおっかなびっくり気味に話す人もいました。午前11時過ぎから、あらかじめ振り分けられた班で、普段見ることができないキリン、シマウマ、シロサイ、リスザルといったサバンナの草原に生きる動物たちやカバ、アカ



くつろぐホワイトタイガー

ゲザル、エゾヒグマ、ヒクイドリのかわいらしさと凛とした風格を感じつつ檻の周りをどきどきしながらゆっくり歩きました。おりの中に入っても大丈夫なシロフクロウなどは近くで観察することができました。

もっとも仲間たちが興味を持ってカメラを向けたり、歓声を上げたりしていたのは「ホワイトタイガー舎」でした。ガラス張りのおりの中をノシッノシと歩いて「こんにちわー」と挨拶しているようでした。

約1時間の散策を終え、「おなかですいた」という声も聞こえるようになって、動物を見ながら近くのレストラオンへ。仲間たちの座ったテーブルには、事前に希望をとったメニューが置いてあ



カメラに向かって、ピース

り、「いただきます」とお昼の挨拶のあと、食べはじめました。普段のランチは、仕事の都合もあって、早いですが、この日はやはり、ゆっくり時間を過ごしていました。

食事を終え、お土産をたくさん買った仲間たちは、乗馬クラブの横を通り、乗馬している人々をみて「上手だね。こういう週末を一度味わってみたい」と話していました。

帰りに、道の駅でのんびり。新鮮なミルクを使ったソフトクリームで、旅の疲れを癒してわらしべの家に着くと、お土産に買ったホワイトタイガーのぬいぐるみを見せ合いながら仲間たちで「今年も、楽しかったね」と話す姿が多く見られました。（混む）

2年ぶりの交流会楽しむ



元気に選手宣誓をする仲間たち

10月10日（木）に栃木市障害者福祉施設協議会の主催で、スポーツ交流会が栃木市運動公園の体育館で開催され、市内の10ヶ所の通所施設に通っている利用者同士がスポーツを通して交流を深めました。今年で13回目2年ぶりの開催となりました。仲間たちは、お揃いのわらしべTシャツに着がえ紅組として参加しました。

開会式での選手宣誓は、わらしべの家と他施設の利用者の2人が声を合わせました。わらしべの家の代表として、選手宣誓をした利用者は、「緊張したけれどできました」と話していました。

開会式後「必殺！血返し」や、「玉入れ」、「綱引き」、「缶釣り競争」などのほかに、新しく「ボール送り」が入り、7種目の競技で行われました。ボール送りは、紅白にわかれて先



必死にボール送りをする仲間たち

頭から順にボールを手渡すという競技でした。勝利したチームは、得点が入ると皆で拍手をして喜び会場を盛り上げました。紅と白が引き分けになると、3回戦まで続けられました。白が優勢となるが多かったです。

競技に参加したある仲間は、「血返しは、みんなと一緒にやってみようと思った。綱引きは手が痛かったが楽しかった」、「玉入れはなかなか入らなかった」と、話していました。

放送席で競技の進行を利用者もやりました。進行の係りをした利用者は、「楽しかった。来年もやりたい」と話していました。

施設ごとに紅白にわかれて競技を行い、今回のスポーツ交流会は白組が勝利し幕を閉じました。ある仲間は、「結果は負けてしまいました。が、とても楽しい交流会になりました」と、話していました。（PORR）



社会福祉法人わらしべの里

『わらしべの里通信』第33号(通巻47号)
 発行元 社会福祉法人わらしべの里
 発行責任者 金坂 直仁
 編集者 わらしべの家パソ工房
 〒328-0011 栃木市大宮町2708-3
 電話 0282-27-1627
 Fax 0282-27-1675
 E-mail warasi-nk@cc9.ne.jp (事務所)
 http://www.cc9.ne.jp/~warashibenosato/

編集後記

6月から衣替えになり、すぐに梅雨に入りました。気温も真夏のような暑さから肌寒い日もあり、体調管理に気をつけたいです。そして夏になると冷たい飲み物やアイスクリームが、おいしい季節を迎えます。僕はアイスコーヒーが好きなので、今年も風呂上りにおいしく飲みたいと思っています。今年はどうな夏になるのかな。

今年の4月から毎月1回土曜日にわらしべの家を開所日とし、レクリエーションの企画を立て、4月はボウリング大会、5月はユニバーサルスポーツ大会に参加し皆で楽しみました。これからの楽しみが増えました。（範）